

## 藤沢地区福祉施設連絡会の「防災に関する講演会」を支援



研修会の模様

神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 藤田准陸尉）は、藤沢地区福祉施設連絡会の研修会において、横浜出張所長の縣一陸尉が講師を務めた「防災に関する講演会」を支援した。

会場には、高齢者施設の職員、高齢者福祉を志す学生・ボランティア・一般市民、約90名が集まり、災害対応及び防災意識などに関する講話を受講した。

藤沢募集案内所は、「今後も、このような研修会等の場を有効に活用し、地域の方々に自衛隊に対する理解と協力を求めていくとともに、募集成果にも繋げていきたい」としている。

## 総合的な学習の時間を支援 清泉女学院高等学校



歴史館の見学

神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 藤田准陸尉）は、8月8日（金）、通信学校（横須賀市 久里浜駐屯地）において実施された、清泉女学院高等学校の総合的な学習の時間を支援した。

参加学生6名は、歴史館の見学や基本教練、通信機材を研修したほか、格闘では、剣（模型）を使った護身術を体験し、初めての護身術に、はしゃぐ学生もいた。

藤沢募集案内所は、「今後も、積極的に総合的な学習の時間を支援し、自衛隊を身近に感じてもらうとともに募集成果に繋げていきたい」としている。

## 富士総合火力演習 （援護協力者に対し自衛隊の理解を促進）



神奈川地方協力本部（本部長 高田 充一海佐）は、8月21日（木）、自衛隊神奈川援護懇話会による平成26年度富士総合火力演習研修を支援した。

富士総合火力演習は、戦車や航空機等自衛隊の様々な装備品が一同に介する国内最大規模の陸上自衛隊実弾演習で主要装備を間近で見られるとあり69名の参加者があった。

当日は猛暑日の中であったが、参加者は最後まで熱心に研修し、戦車やヘリコプターの様々な火力展示を目のあたりにすると、参加者から「映像で見ると全然違い迫力が凄すぎる」と驚きの声がかかれた。

また、榴弾砲21門の一斉射撃により3段山上空に「富士山」が描かれると研修者をはじめ当日の来場者から大きな拍手と歓声が沸いた。

演習後の装備品展示では、先程まで火力を發揮していた戦車やヘリコプターを間近にし、目を輝かせながら装備品を見学するとともに、轟音に替わって記念撮影のシャッター音が鳴り響くなど、終始自衛隊に対する理解を深める有効な研修の場となった。

神奈川地本は「今後も自衛隊神奈川援護懇話会の活動を支援し、自衛隊の更なる理解と退職自衛官の雇用に結びつけるよう努力したい」としている。